

# RexAcctScript を変更してアカウントティングファイルに CSV フォーマットを作る方法

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[RexAcctScript を編集して下さい](#)

[関連情報](#)

## [はじめに](#)

このドキュメントでは、アカウントティング ログ ファイルが CSV 形式を反映するように、RexAcctScript を手動で編集する方法について説明します。

## [前提条件](#)

### [要件](#)

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

### [使用するコンポーネント](#)

この文書に記載されている情報は Cisco アクセスレジストラのすべてのバージョンに適用されます。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

### [表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## [RexAcctScript を編集して下さい](#)

アカウントティング ログファイルにビルディングアプリケーションで利用できる CSV フォーマットを反映してほしい場合は RexAcctScript を手動で編集し、リコンパイルして下さい。

ファイルの場所は

• /opt/AlCar1/examples/rexacctscript/AcctAsScript.cpp

会計の形式を変更するために、これらの変更を行なって下さい:

Line Number	変更前	「
2048	* ( pEnd++ ) = 「\ n」 ;	* ( pEnd++ ) = 「 」、 ;
2037	* ( pEnd++ ) = 「\ t」 ;	* ( pEnd++ ) = 「 」 ;

注: 「」領域がはいつています。

このスクリプトをコンパイルし、インストールに成功するために、[REX 会計スクリプトを使用し](#)  
[て参照して下さい。](#)

アカウンティング ファイルの出力はこれに類似したのようです:

Tue, 26 Sep 2000 17:15:22

User-Name = sven, NAS-IP-Address = 10.200.68.2, NAS-Port = 2, Service-Type = NAS Prompt,  
Calling-Station-Id = 172.17.246.244, Acct-Status-Type = Start, Acct-Delay-Time = 0,  
Acct-Session-Id = 0000000D, Acct-Authentic = RADIUS, NAS-Port-Type = Virtual,,,,,

Tue, 26 Sep 2000 17:15:23 User-Name = sven, NAS-IP-Address = 10.200.68.2, NAS-Port = 2,  
Service-Type = NAS Prompt, Calling-Station-Id = 172.17.246.244, Acct-Status-Type = Stop,  
Acct-Delay-Time = 0, Acct-Session-Id = 0000000D, Acct-Authentic = RADIUS,

Acct-Session-Time = 1, Acct-Terminate-Cause = User Request, NAS-Port-Type = Virtual,,,,,

アカウンティング ファイルは今各エントリ間のカンマが ( 「」、 ) 含まれています。

## [関連情報](#)

- [拡張ポイントの使用](#)
- [Cisco アクセスレジストラ 会計](#)
- [Cisco Access Registrar サポート ページ](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)